

2024年10月1日発行

JAJA REPORT

Support Locals

Vol.
14



JAJAカレンダー2025
こども食堂 Back to School
ハリケーンBeryl
サマースクール
さをり織り

限定記事
Marcus Garvey Celebration
今月のジャマイカ料理
ちょこっとパトワ

NPO法人 リンナップジャジャ
LINK UP JAJA

JAJAカレンダー2025

発売間近!

NPO法人LINK UP JAJA (リンコップジャジャ) をいつも温かく応援してくださる皆さま、本当にありがとうございます! リンコップジャジャは昨年に引き続き、チャリティーカレンダー「JAJAカレンダー2025」を販売致します。当法人が行う「ジャマイカにおける障害者の居場所づくり事業」では、就労や社会参画の機会に恵まれないジャマイカの障害を持つ人たちが、社会とのつながり、居場所、仕事や役割を持って生きられることを目指して支援しています。仕事に就けずストリートでカンパを募って生き延びる身体障害を持つ仲間や、支援学校を卒業した後どこにも行くところがない知的障害を持つ若者との関わりを続けていると、支援が必要な障害当事者との出逢いが増え、ニーズも様々な形で広がります。物価の高いジャマイカで障害を持つ方を支援することの経済的ハードルを感じながらも、様々な個人や団体から頂くご支援、ご協力のお陰でリンコップジャジャの活動を続けられていることに勇気を頂いています。皆さまからの温かいご支援に心より感謝申し上げますとともに、今後とも当法人の活動を支えて頂きますようお願い申し上げます。

★★JAJAカレンダー販売代理店募集!!★★

JAJAカレンダー販売(買取) 販売価格1部2000円

商品の発送は11月半ばを予定しています。

ご協力頂ける方は info@linkup-jaja.org にお問い合わせください。

今後ともNPO法人LINK UP JAJAをよろしく願いいたします。ONE LOVE!



A4サイズ(見開きA3サイズ)
販売価格 2,000円(税込)

ジャマイカこども食堂 Back to School編



OGA from Jah Works
@ogajahworks



昨年からレゲエセレクターのOGA from Jah Works (以下おがちゃん)と取り組んでいる「ジャマイカこども食堂」は、「大好きなジャマイカに何かの形で恩返ししたい」という彼の想いと「人気者の力を借りてジャマイカの子どもや人々を応援する取り組みを広げたい」というNPO法人LINK UP JAJAの思いがマッチして生まれました。普段は地域の子どもたちに食べ物を振舞いながら日本文化を紹介するなどしていますが、今回行ったジャマイカこども食堂第5回では、おがちゃんの提案で9月から始まった新年度に向けた就学準備“Back to School”にフォーカスして支援しました。

およそ10万円を預かり、12人の子どもの制服、1人の子どもの教科書5冊、5人の就学カバンと文具の購入費用を支援しました。凄まじい物価高で生活が圧迫される中、1着5000円ほどかかる制服や1冊2000円する教科書を何冊も買い揃えることは保護者にとって大きな負担です。支援したお母さんたちから「本当に助かる。ありがとう!」とたくさん感謝のコメントを頂きました。

次回第6回は、おがちゃんがジャマイカに戻って来るタイミングで行います。OGAインスタグラムのサブスクライバーとNPO法人LINK UP JAJA会員限定で活動報告動画をシェアしていますので、お楽しみに!



【支援内容】

制服	子ども12名	24着
教科書	子ども1名	4冊
カバン	子ども9名	9個
文具	子ども3名	ノートや筆記用具
合計		117,855ジャマイカドル (109,863 円 / 2024年8月31日現在)

ハリケーンBeryl(ベリル)

2024年7月3日にジャマイカに上陸したカテゴリー5のハリケーン・ベリルは、建物、水、電気、医療などのインフラ、農業、漁業などに重大な被害をもたらしました。カテゴリー5とは、日本で言うクラス5の猛烈な台風で、多くの建物で屋根が壊れるほど最大級の台風です。ジャマイカの南側を通過したため島の南部が大きな被害を受け、ハリケーン上陸から1カ月半が経とうとしている8月半ば現在も停電している地域がたくさんあります。この暑い夏に扇風機も使えないなんて、想像するだけでつらい。NPO法人LINK UP JAJAの活動拠点があるジャマイカの北側は比較的被害が少なく、我が家では一度も断水せず助かりましたが、停電は8日間続きました。災害大国の日本では常に地震、台風、大雨などの被害がありますが、皆さまが無事で過ごされているでしょうか？

ハリケーン上陸の数日前から、木造の小屋に暮らす貧しい親子のことが気になっていました。普段から貧困者支援などの取り組みを行っている町内会に親子の避難を支援するよう呼び掛けましたが、上陸直前になっても親子は避難できずにいました。「このままではハリケーンが家屋を破壊して、親子が死ぬかもしれない」と思い、上陸の夜に急遽タクシーで親子を迎えに行き、地域の避難所となっている小学校に連れて行きました。ところが、開設されているはずの避難所が閉まっている。「なんでやねん!」と憤慨し、仕方がないので近所のゲストハウスに連れて行き、夜遅くにも関わらずインターホンを鳴らし続け、急きょ親子を泊めてもらいました。その後すったもんだがありつつも、親子はハリケーンを無事に生き延び、幸い家屋のダメージも少なく、胸を撫でおろしたのでした。町内会から「親子を助けてくれてありがとう」とたくさんのメッセージを頂きましたが、次は「よっしゃ、一緒に助けに行こう!」と言ってくれる人がいたらいいな、そんな地域に変わっていくよう地元の方と一緒に活動を続けていきたいなと思います。そして、ジャマイカの様々な地域でいまだに大変な思いをされている被災者が、一日も早く日常を取り戻すことができるよう願っています。



サマースクール

ハリケーンの影響で、地域で予定されていた夏季学童保育「サマースクール」が全てキャンセルになりました。経済的に余裕のある家庭は子どもをレジャーや海外旅行に連れて行くことができますが、貧しい家庭にはそのような予算がありません。長い夏休みを、子どもたちが何もせず過ごすのは可哀想と思い、JICAボランティアの方と共に独自のサマースクールを企画しました。当初、さをり織りを教えている特別支援学校の在校生5人程度を予定していましたが、地域の親子や在校生の保護者、学校の卒業生などが加わり、気づけば大人と子ども合わせて25名に膨れ上がり、大慌てです！

最初の2日間は子どもの交通費を支給していましたが、昼食代や会場費で負担が大きくなり、2週目からは「ごめん、自腹で来て！」と交通費を自己負担するようお願いしました。参加者は減りましたが、それでも10名ほど集まり、子どもたちと一緒にさをり織りや図画工作を楽しみました。この取り組みも、皆さんから頂く年会費や寄付金がなければ到底できなかったことです。様々な形でNPO法人LINK UP JAJAを支えて下さっていること、心より感謝いたします。ジャマイカの子どもたちやお母さんからも、ジャマイカ訛りでタンキュー(Thank you)!



【経費内訳】

昼食、おやつ、調理備品	¥21,770
参加者の交通費	¥3,884
会場費	¥7,210
人件費	¥2,575
合計	¥34,839

ジャマイカでさをり織り -see mi yah!-



See mi yah!

SAORI FOR JAMAICA



「ジャマイカの障害者が取り組める仕事はないだろうか」ずっとそう考えていました。私が大阪で関わっていた障害を持つ人たちは、仕事をして自立するか、就職が難しい場合は作業所に通い、生活保護を受給して自立生活を実現していました。ジャマイカには、生活保護も作業所も障害基礎年金もヘルパー制度も存在しません。重度の障害を持つ大多数の人たちは、親が死ぬまで面倒を見るか、一生を入所施設で過ごすか、道で物乞いをするしかないのです。以前ホームレスへの食事提供の取り組みに参加した時、出逢ったホームレスのほとんど全員がなんらかの障害（大多数が軽度の知的障害、その他身体障害や精神障害）を持っていることに気づきました。2022年日本に帰国した際、障害を持つ人たちが織った美しいさをり織り製品を見て「これだ!」とひらめき、ジャマイカでさをり織りに取り組むと決めます。その後アトリエSUYO（大阪・玉造）の伊藤寿佳子さんに「ジャマイカで障害がある人たちと一緒にさをり織りをやりたいので、どうか教えてください」とお願いして、ジャマイカに戻るまでの4か月間濃密なレッスンを受けました。

そして2023年1月、自分で購入したさをり織り機を担いでジャマイカにやって来たのが、障害を持つ人たちと織るさをり織りブランド“see mi yah!”（シミヤ）の始まりです。「シミヤ」とはジャマイカの言葉パトワで「こっち見て!」という意味で、「障害を持つ人たちの存在に気づいて欲しい」「僕たち私たちが作った素敵な作品を見て!」という気持ちで名付けました。2023年4月からジャマイカの知的や身体に障害を持つ人たちと一緒にさをり織りに取り組み、たくさんの個人や団体から支援を受け、1台だった織り機は現在5台まで増えました。今年の9月からはJICAボランティアの方と協働で特別支援学校在校生へのさをり織りプログラムも開始し、卒業後に仕事がない、居場所がないという問題の解決に繋がることを期待しています。昨年からは織っている人たちはほとんど一人で織れるようになり、「グッと!地球便」に出演した身体障害者のアントニーは自分の作品を路上で販売して収入を得たこともありました。日本以上に物価の高いジャマイカで障害者の自立支援を行うのは大変な道のりではありますが、さをり織りを通してジャマイカ国内でも障害者支援の必要性を訴え、日本の皆さんの力も借りながらなんとかこのプロジェクトを続けていく決意です。皆さんの継続的なご支援を心からお願い致します。

リン Copp ジャジャは皆さんからこんな風に応援してもらえると嬉しい!

講演会

企業、学校、団体向けの講演会のご依頼
(法人の活動紹介や国際協力について)
講演料を頂くことが難しくても、法人の支援者が増えるきっかけになります。お気軽にお声がけ下さい。

会報誌の設置

会報JAJA REPORTの設置
店舗等でたくさんの方の目につく形で会報を置いていただくことで、新たな支援者の獲得に繋がります。

SNSでの応援

当法人が受ける支援(会費・寄付)の大多数はInstagramやフェイスブックがきっかけです。皆様のフォロワーにNPO法人LINK UP JAJAを宣伝してください

物品の販売協力

今年もJAJAカレンダー2025の販売を行います。11月から販売開始を目指していますので、昨年に引き続き販売協力をお願い致します。



JAJA会員さん大募集！

NPO法人LINK UP JAJAを支えてくださっている皆さん、本当にありがとうございます。
お陰様で、2020年12月に発足したNPO法人LINK UP JAJAは2024年4月1日を以って5年目
(令和6年度)を迎えました。法人の活動は、皆さんから頂く年会費や寄付金を利用して運営しています。

賛助会員の年会費は年間3,000円です。賛助会員はいわゆる「応援会員」さんです。会員の皆さんには年に4回会報「JAJA REPORT」を郵送し、法人の活動についてご報告しています。

NPO法人LINK UP JAJAの年度は毎年4月から翌年の3月で、年会費は銀行振込やクレジットカード決済でも納めて頂くことができます。ジャマイカでの取り組みを続けていくため、また、取り組みを発展させ持続可能な形にしていくために、皆さんの温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

銀行振込で寄付金や会費を納めてくださる皆さまへ

法人の口座にお振込み頂く場合、会報の発送をご希望される方は、件名【会費納入】本文

【①宛名②住所③領収書を希望される方は「領収書希望」と書いて

info@linkup-jaja.org にメールをお願いします。領収書はPDFファイルで送付させていただきます。

クレジットカード決済で楽ちん! Syncable

NPO支援のプラットフォームSyncable(シンカブル)では、クレジットカード決済で会費を納めて頂ける他、自動更新を選んで頂くと毎年度自動的に会費を納めて頂くことが出来ます。NPO法人LINK UP JAJAの年会費(3,000円)の引き落とし日は毎年3月1日です。単発の寄付をして頂くこともできます。

<https://syncable.biz/associate/LINKUPJAJA>

 Syncable



～会員登録の流れ～

①サイトにアクセス



②「年会員になる」を選択



③必要事項を記入



④お支払い
会員登録完了!



NPO法人LINK UP JAJA

コロナ禍真ただ中の2020年、ジャマイカを支援するため立ち上がる。コロナによる経済的被害で失業や収入減に苦しむ人々を「フェアトレード事業」という形でサポート。2022年に「障害者の居場所づくり事業」を立ち上げ、ジャマイカの地域社会に障害者の働く場や日中活動の場を作ることを目標に活動している。

NPO法人LINK UP JAJA(リンコップジャジャ)
大阪府大阪市鶴見区鶴見2丁目22番5-603号
info@linkup-jaja.org

WEB <https://linkup-jaja.org/>

NPO法人LINK UP JAJA 

リンコップジャジャ 

  @LINKUPJAJA